

月	日	ω	星面の色彩	暗黒部の濃度	月	日	ω	星面の色彩	暗黒部の濃度
四	17	224°	帯赤橙色	稍々淡シ	七	29	264°	黄桃橙色	濃シ
五	3	76	帯赤黄色	非常=淡シ	八	3	210	鮮桃黄色	普通
	20	258	同上	淡シ		4	208	帯赤黄色	稍濃シ
六	10	47	橙黄色	同上		8	169	帯黄桃色	淡シ
	15	341	赤味強シ	同上		13	121	桃黄色	非常=淡シ
	17	342	帯赤橙色	普通		17	72	帯黄桃色	同上
七	1	173	赤味ノアル 橙黄色	稍濃シ	八	18	73	帯黄桃色	淡シ
	7	103	同上	稍淡シ		20	50	黄褐色	非常=淡シ
	8	109	桃色ガカル	同上		24	0	帯赤褐色	淡シ
	9	88	帯赤橙黄色	同上		25	13	桃黄色	同上
	14	38	帯赤黄色	淡シ		26	347	帯橙黄色	同上
	16	23	帯赤橙黄色	普通		30	330	帯赤橙色	サベウス、濃シ シルチス、淡シ ク他ハ淡シ
	20	244	帯強赤橙黄色	稍濃シ		31	335	帯桃橙色	濃シ
	25	293	帯橙桃黄色	濃シ	九	7	249	帯微赤橙色	稍々濃シ
	26	293	帯赤橙黄色	普通		8	230	橙黄色	普通
	28	268	帯赤黄色	稍濃シ					

(未完)

世界最大“二百吋”望遠鏡の製作工程

全世界の天文ファンが待望的である“二百吋”の大反射望遠鏡の製作工程について、米國カリフォニヤ工學院の John A. Anderson 博士が発表する所によれば、昨年1939年七月末の現在では、

- 1) 研究所本部の3つの建築は最近完成した。
- 2) 口径“200インチ”の鏡面は殆んど完全に球面となつた。あと僅かな整形が残つてゐるばかり。
- 3) 補助用の双曲線鏡面數ケは一部整形終了。
- 4) クデ式の平面鏡(36"×53")は殆んど完成。
- 5) 望遠鏡運轉用の3ケの大型フレーム・ギヤの内、1ケは完成、他は製作中、之れは各個の製作に6ヶ月かかる。
- 6) パロマ1山上では、徑135呎のドームが略々完成。“二百吋”望遠鏡のマウンテングの重量部は、製作されただけは皆据え付けられたし、電気装置も可なり進歩した。口径“48吋”のシムット望遠鏡のドームも殆んど完成した。
- 7) “二百吋”望遠鏡の附屬品、即ち、分光寫眞儀や、乾板とり枠や其の他一切のものは、望遠鏡がほぼ2年後には完成して、使用されるやうになる見込みなので、其れまでには全部が出来上る豫定で、製作工事が進められてゐる。

こんなわけであるから、さすがに巨大な此の望遠鏡の工事であるため、いろいろ各方面で、やかましく待望されてゐる割り合ひに時日が長引いてゐるが、上記の様子から見ると、1941年の末までには全部が完成し、早ければ同年内に、或は遅くとも1942年には観測が開始されるだろうと、豫期される。